

国体等を見据えた今後の社会体育施設の整備方針等について

1 (仮称)彦根総合運動公園の整備

施設名	整備の方向性	ホストタウン	WMG	国体
(仮称)彦根総合運動公園	<ul style="list-style-type: none"> 現在の彦根総合運動場を国体等の主会場とするため、第1種陸上競技場を備えた都市計画公園として再整備する 県民のスポーツ拠点としての機能強化や愛着をもって利用される多様な機能を備えた公園として、周辺景観と調和した施設を整備する(公園整備スケジュール) <p>H28～H30 基本設計・実施設計 H29～H30 現有施設の解体工事 H30～H34 公園等整備工事 H31～H34 第1種陸上競技場建築工事 H36～H37 庭球場整備工事(第2期工事)</p>			開・閉会式、陸上競技

2 移転整備を行う施設

施設名	整備の方向性	ホストタウン	WMG	国体
体育館	ウカルちゃんアリーナ(県立体育館) <ul style="list-style-type: none"> 国体を見据え、必要な維持修繕を行っていく 国体後については、廃止し、跡地については、地元大津市の意見を参考にしながら、有効活用について検討 			空手道
	新県立体育館 <ul style="list-style-type: none"> びわこ文化公園都市に移転整備することとし、スポーツ・健康づくり拠点の核としての整備に向け、周辺大学・関係団体等や有識者による施設整備検討懇話会から意見を聴取し、平成28年度中に基本計画を策定するとともに民間活力導入について検討 (県が直接整備する場合のスケジュール) <p>H28 基本計画の策定 H29～H31 基本設計・実施設計 H31～H34 造成工事・建築工事</p>			体操、バスケットボール、バドミントン

3 大規模改修を行う施設

施設名	整備の方向性	ホストタウン	WMG	国体
琵琶湖漕艇場	・湖上スポーツの拠点、国体等全国規模の大会開催にふさわしい施設として活用できるよう、大規模な改修を行うこととし、競技団体等に意見聴取し、整備内容を検討中（詳細別紙のとおり）	ボート	ボート	ボート

4 現状施設の維持修繕を行っていく施設

施設名	整備の方向性	ホストタウン	WMG	国体
長浜バイオ大学ドーム（長浜ドーム）	・必要な維持修繕を実施		ホッケー	相撲
アイスアリーナ	・必要な維持修繕を実施			
武道館	・必要な維持修繕を実施			
野球場	・必要な維持修繕を実施			
柳が崎ヨットハーバー	・必要な維持修繕を実施			
栗東体育館	・必要な維持修繕を実施			
伊吹運動場	・必要な維持修繕を実施	ホッケー	ホッケー	

5 引き続き検討

施設名	整備の方向性	ホストタウン	WMG	国体
スイミングセンター	・現スイミングセンターを廃止することから、代替施設について、県としてのプール整備を検討すべきであるが、県内市町が主体的にプール整備を検討される場合は支援を検討 ・先般、大津市からプール整備の要望があったが、国体に向けた市単独での皇子が丘プールの整備は困難であるとのことから、今後、大津市と整備主体や整備手法について検討し、協議を行うとともに、他の市町のプール整備のご意向も伺いながら今年度内に整備の方向性を決定			
スポーツ会館	・トレーニング施設の機能について新県立体育館に複合化する方向で検討中 ・現施設の取扱いについては、今年度内に方向性を決定			
ライフル射撃場	・国体を見据え、今後の方向性について検討中			

滋賀県立琵琶湖漕艇場の大規模改修について

1. 施設概要

- ・ 昭和 46 年設置
- ・ 湖面占用許可 1,370m×190m
- ・ 日本ボート協会 B 級公認コース常設 1,000m×6 レーン
- ・ カヌー競技使用時 1,000m×9 レーン

2. 現状

- ・ 老朽化が著しいことから、湖上スポーツの拠点として、また国民体育大会等全国規模の大会を開催するにふさわしい施設として活用できるよう大規模な改修を行うこととした
- ・ 滋賀県ボート協会、滋賀県カヌー連盟、中体連、高体連等競技団体および指定管理者からヒアリングを実施

3. 競技団体等の主な意見

(1) 管理棟・艇庫等

- ・ 施設のバリアフリー化
- ・ 競技力強化のためのトレーニング室設置
- ・ 艇庫の増設、拡充
- ・ 駐車スペースの確保
- ・ 艇置場の拡充

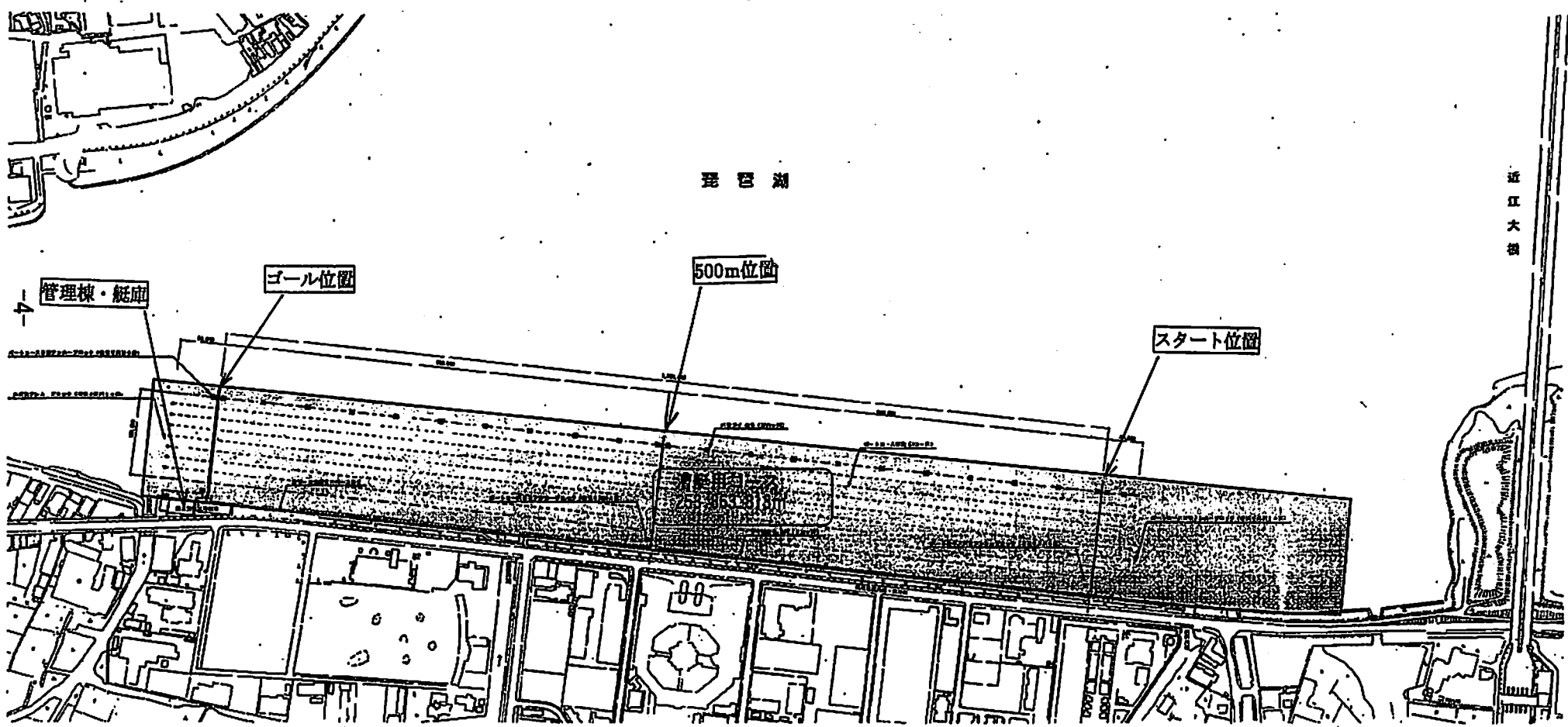
(2) コースおよびその周辺

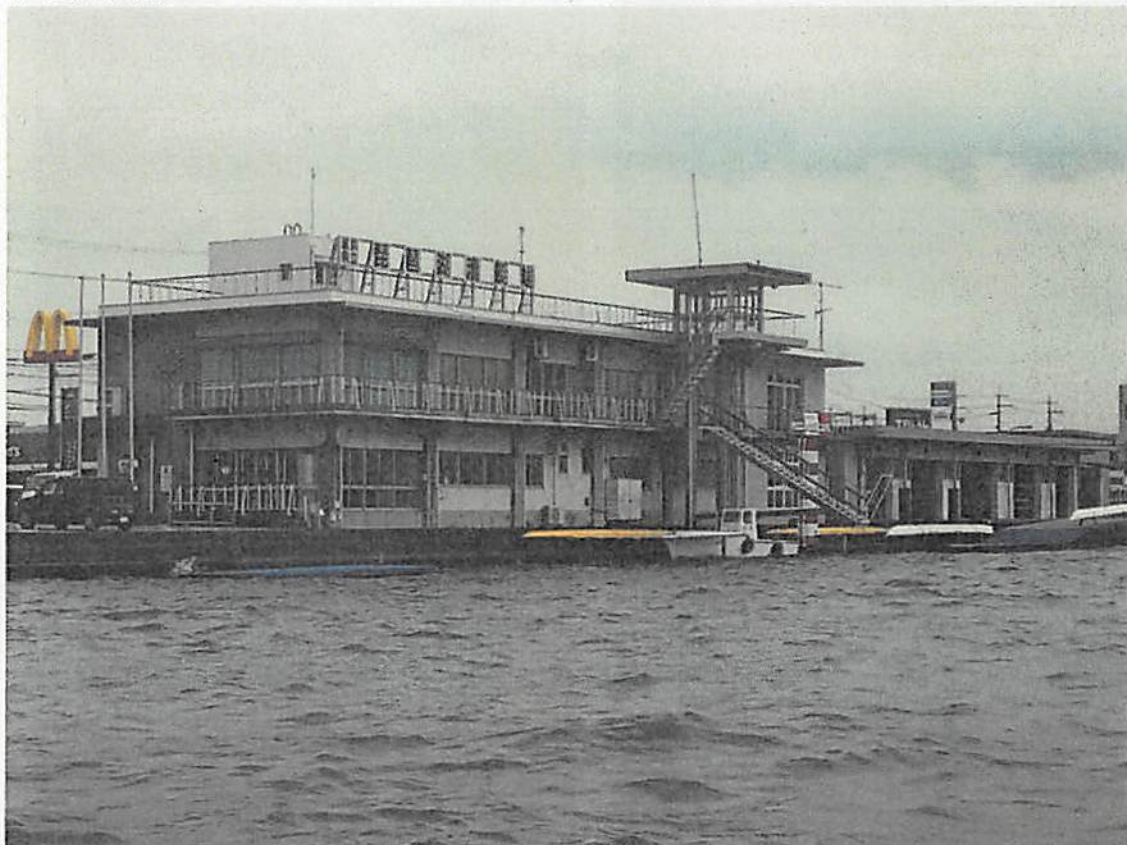
- ・ ゴール付近に艇が集まることから、スタート位置、ゴール位置を北側へ移動（赤白ボールの移動）
- ・ 艇を出し入れしやすくするために管理棟前の通路の改良
- ・ ゴール付近の緑地を平坦にし、護岸部分の段差も平坦にすることで、艇置場や応援スペースとして利用スペースを確保
- ・ 夏季に繁茂する水草の除去対策と流れ藻と流入防止
- ・ 距離表示板の設置
- ・ 北西から吹く風で生じる波のための消波堤の設置

4. 競技団体等の意見を踏まえた今後の取組み

- ・ 競技団体等の意見を踏まえ、施設の改修内容の検討を行うとともに周辺の土地活用について関係者と協議し、検討中

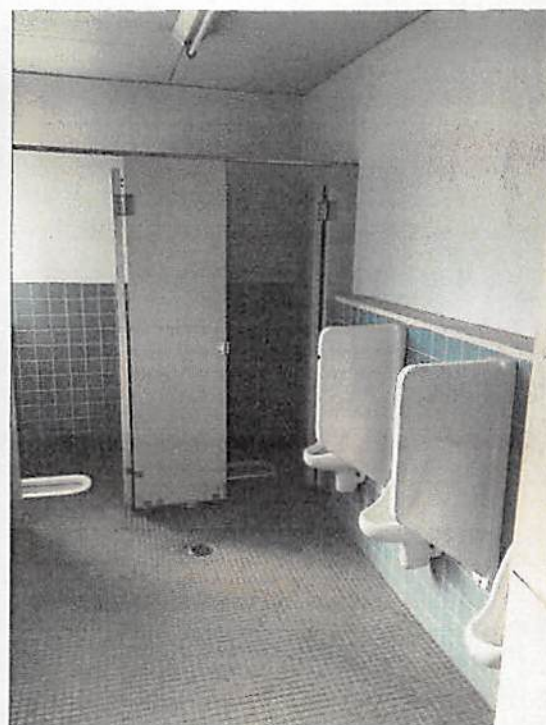
琵琶湖漕艇場全体配置図



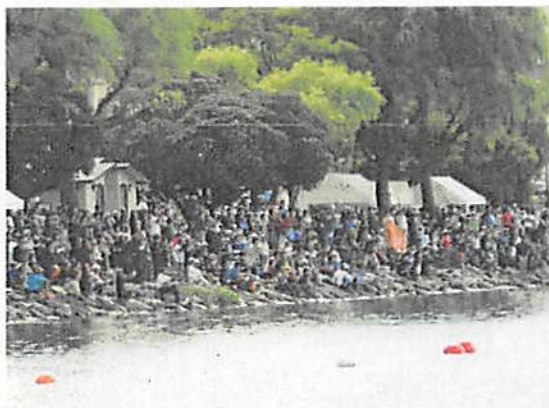


管理棟階段部分 (1F→2F)

トイレ (1F)



湖岸緑地付近



駐車場前



漕艇場隣地の湖岸緑地の一部



漕艇場管理棟前の通路（犬走り）



水草の状況



艇庫

